

教科名	科目名	単位数	授業形態	学科（文・理）	履修年次
公民	公共	2	一斉	普通科	2

教科書（発行所）	新版 公共（数研出版）
教科書以外の教材	フォーラム 公共（東京法令出版）

目 標			人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある社会人として必要な能力と態度を身につける。		
	学期	学習時期	学習事項	学習内容	考查等
学習のねらい	1 学期	4 月	第 1 章 公共的な空間をつくる私たち	第 1 節 青年期と自己形成 第 2 節 人間としての自覚 第 3 節 日本人としての自覚	中間考查
		5 月		第 2 章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	
		6 月	第 3 章 公共的な空間における基本原理		第 1 節 民主社会の基本原理 第 2 節 日本社会の基本原理
		7 月		第 4 章 現代の民主政治と政治参加の意義	
	9 月	第 5 章 現代の経済社会と経済活動のあり方	第 1 節 経済のしくみと市場機構 第 2 節 財政と金融 第 3 節 日本経済の発展と変化 第 4 節 豊かな生活と福祉の実現		
	10 月				第 6 章 国際社会の動向と日本の役割
	11 月	第 6 章 国際社会の動向と日本の役割	第 1 節 国際政治の動向 第 2 節 国際政治の課題と日本の役割 第 3 節 国際経済の動向と国際協力		
	12 月			第 6 章 国際社会の動向と日本の役割	第 1 節 国際政治の動向 第 2 節 国際政治の課題と日本の役割 第 3 節 国際経済の動向と国際協力
	3 学期	1 月	第 6 章 国際社会の動向と日本の役割		
		2 月			
		3 月			
	授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等			1 課題・提出物等の期限を守る。 2 プリントは空欄を埋めるだけでなく、説明を聞いてメモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。プリントが自分の参考書代わりになるので、後から復習で活用できるようにまとめる。 3 最低でも週に 1 回は授業内容を振り返る。 4 様々なニュースに興味・関心を持って触れ、自分の視野を広げられるよう意識する。	

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	1 現代の社会のしくみやその成り立ちの経緯について基本的な知識を身につけている。 2 現代の社会の事象を理解するために、それらの知識を用いたり諸資料を読み解いたりして、効果的に活用することができる。	1 現代の社会の諸課題について、社会の変化をふまえて、多面的に考察し、公正に判断することができる。 2 自己の考えを、論理的に述べるることができる。	1 現代の社会のしくみについて、関心をもち、理解しようと努めている。 2 現代の社会が抱える課題について、改善・解決する方法を意欲的に追究することができる。
評価の方法	考查（定期考查・課題考查）および授業等において、知識・技能および思考力・判断力・表現力について問い、それをもとに、考查成績、課題提出状況、出欠状況、授業に臨む姿勢や意欲などを総合的に判断して評価する。		